

7月24日（金）、福祉友愛アリーナにてボッチャ交流会が行われました。大垣特別支援学校、中濃特別支援学校、東濃特別支援学校、長良特別支援学校の4校から10名が参加し、4チームに分かれて、1試合2セットの総当たり戦による交流を行いました。

混合チームでの活動ということもあり、最初は緊張した様子が見られましたが、試合を重ねるうちに次第に打ち解け、「頑張って！」「ナイス！」と声を掛け合ったり、好プレーに拍手を送ったりするなど、終始温かい雰囲気の中で交流を深めることができました。

また、参加者は試合だけでなく、審判も自分たちで担当しました。勝敗確認や進行を行う中で、ルールを理解しながら責任をもって取り組む姿が見られました。試合を重ねるごとに、ジャックボールを狙って投球する技術も向上し、仲間に「もう少し強く投げるといいよ」とアドバイスをしたり、ランプ台の向きを一緒に考えたりする姿も見られました。

各校の児童生徒からは、「楽しかった」「いろいろな学校の仲間と交流できてよかった」「学校でもボッチャをやりたい」といった感想が聞かれ、笑顔あふれる交流会となりました。

この交流会を通して、パラリンピック競技であるボッチャに親しむとともに、各校の仲間と喜びや達成感を共有することができました。ハイタッチを交わしたり励まし合ったりする姿も多く見られ、夏休みの思い出となる有意義な時間を過ごすことができました。

#### 【開会式・自己紹介タイム】



【交流会】

競技



審判

